

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 7th Sense鳥丸御池 保護者等数(児童数) 5(5) 回収数 5 割合 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	5	0	0	0		
	2 職員の配置数や専門性は適切である	5	0	0	0		
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	1	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	4	1	0	0		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	2	2	0	1		保護者との面談、レッスンでの児童の様子や職員間での情報共有を踏まえて計画を作成しております。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	1	0	0		
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	4	1	0	0		
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	0	3	1		現在、交流会は設けておりません。しかしながら今後ご要望がございましたら検討して参ります。
適切な 支援の 提供	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	5	0	0	0		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	4	1	0	0		
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングiv等)が行われている	2	0	1	2		レッスンの振り返り時やその他必要に応じて適宜家庭で行える支援の方法をお伝えして参ります。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	4	1	0	0		
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	3	2	0	0		
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	0	1	3	1		現在、交流会は設けておりません。しかしながら今後ご要望がございましたら検討して参ります。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	3	1	0	0		
17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	4	1	0	0			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	18	個人情報の取扱いに十分注意されている	5	0	0	0		
非常時等の 対応	19	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	4	1	0	0		
	20	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	2	3	0	0		職員による避難訓練は年2回実施をしています。今後児童と一緒に訓練を行うことも検討して参ります
満足度	21	子どもは通所を楽しみにしている	5	0	0	0		ありがとうございます。今後もお子様と楽しい時間を過ごせるように努力して参ります。
	22	事業所の支援に満足している	4	1	0	0		今後もよりよい支援を行っていただけるように努力して参ります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 3月 25日

事業所名 7th Sense烏丸御池

保護者等数(児童数) 43(49) 回収数 27 割合 62.7%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	22	4	0	1		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	18	5	0	2	学生指導員の専門性・支援の質の向上	研修や会議、情報共有をより綿密に行い、研鑽に努めて参ります
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	15	6	0	6		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	25	1	0	1		保護者との面談、レッスンでの児童の様子や職員間での情報共有を踏まえて計画を作成しております。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	23	3	0	1		レッスン中の児童の様子を観察し、発達段階や興味・特性に合った支援を行っております。取組内容のバリエーションを増やせるように研修も行っております
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	3	10	7	漢検や将棋など、事業所で出来る事を繋げて頂いている。担任の先生、カウンセラーなど専門家にこちらの連絡帳を送付させてもらうことで、連携が取りやすく	現在交流の実施の予定はございません。しかしながら今後ご要望がございましたら検討して参ります。
保護者 への 説明 等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	25	2	0	0		契約時、報酬改定時に適切にご説明し、ご理解いただけるように努めます。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	23	2	1	0		
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	22	5	0	0		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	1	15	6	父母の会や保護者会などの連携は、年齢や障害の内容によるので昔のように情報が取りにくい時代でもないのに余り必要性を感じていません。	現在交流会の実施の予定はございません。しかしながら今後ご要望がございましたら検討して参ります。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	17	3	0	5	そもそも苦情が出ない環境を作って頂いている。	苦情やご意見があった場合には真摯に速やかに対応して参ります。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	23	2	0	1		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	14	4	1	8		一斉ビジネスLINE等を介して積極的に活動に関する発信を行って参ります。
	14 個人情報に十分注意しているか	22	2	0	3		
非常時	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	22	4	0	1		各種マニュアルは作成し、職員には周知しておりますが保護者への周知は不十分ですので、今後周知していけるように準備をして参ります。

等の 対応	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	4	1	10	1対1でレッスンをして頂いているので、万が一の事態であっても子供の安全は担保されているように思います。	職員による避難訓練は年2回実施をしています。今後児童と一緒に訓練を行うことも検討して参ります。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	24	2	0	0		今後もお子様と楽しい時間を過ごせるように努力して参ります。
	18	事業所の支援に満足しているか	25	2	0	0		今後もよりよい支援を行っていただけるように努力して参ります。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせる実施されることが想定されている。

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年 3月 25日

事業所名 7th Sense鳥丸御池

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			広さはそれぞれ違い、発達段階や支援内容、状況により使い分けています。
	2 職員の配置数は適切である	○			よりよい支援を行うためにも配置について考えていきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		施設内のバリアフリーに努めています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		清潔面と換気に気を付けています。教室内にはオゾン発生装置を設置しております。また視覚刺激を避けるように配慮しております。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		月に1回定期的に会議を開いております。	職員での情報共有、人権、緊急時等の研修を行い、深めています。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		会議において情報共有を行い、保護者等の意向等を把握に努めています。	前回の評価結果を参考にいたしました。引き続き継続して参ります。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で	○		事業所内での掲示、ホームページにより公表を行っております。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在のところ第三者評価の実施の予定はございません。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部研修費の補助、内部研修の際、情報共有を行い、資質の向上に努めております。	内部研修の機会を増やし、さらに情報共有・資質の向上に努めて参ります。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		入所前にアセスメントシートを書いていただいたり、発達検査、子ども、保護者のご意見を基に作成しております。	面談等で得た情報を常に更新をしていき、支援に活用して参ります。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		現在使用しているアセスメントツールはありますが、標準化はされておられません。しかしながら、データを積み上げて信頼性と妥当性を高めていき、支援に役立てていけるように努めてまいります。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		保護者との連携を密にとり、必要な支援を行えるように計画を作成しております。	地域支援に関しては不十分な点がございまして、今後適切な支援を行えるように計画を作成して参ります。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		支援計画に記載された内容に沿った支援を行っております。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		複数の担当の指導員より情報共有を行い、内容を検討しております。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		児童の様子を観察して、発達段階や興味・特性・学習段階に合った支援を行っております。取組のバリエーションを増やすための研修も実施しています。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認	○		開始前に気を付けるべき点や変更点等の情報共有を綿密に行っており	基本的に個別レッスンをしているため、集団活動は他の施設等をお願いしており
	17 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		レッスン報告書提出時に児童発達支援管理責任者へ気になった点等を報告しております。	
	18 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎回のレッスン後にレッスン報告書を作成し、会議でスタッフ全員で考え、よりよいレッスンをできるようにし	
	19 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的またはご相談をいただいた際も行い、見直しを行っております。	
関係	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が参画しております。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		必要な応じて、積極的に連携を行っています。	



	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	23		○		医療的ケアが必要なお子さまや重症心身障害のあるお子さまは現在受け入れをしておりません。
	24		○		医療的ケアが必要なお子さまや重症心身障害のあるお子さまは現在受け入れをしておりません。
	25	○		必要に応じて、積極的に連携を密に行います。	支援内容等の情報共有・相互理解を図っていきたくと考えております。
	26	○		必要に応じて、積極的に連携を密に行います。	支援内容等の情報共有・相互理解を図っていきたくと考えております。
	27		○		今後、積極的に参加をしていきたくと考えております。
	28		○		現在予定はございませんが、前向きに検討致します。
	29	○			可能な限り積極的に参加をして参ります。
	30	○		毎回のレッスン終了後、説明を行い、支援内容をお伝えしております。	
	31	○		家庭で行える支援の方法をお伝えしております。	
保護者への説明責任等	32	○		契約時に説明を行っておりますが、質問には随時お答えしております。	
	33	○		面談にて内容を具体的にご説明し、本人・保護者のニーズに沿った支援計画の作成を行っております。	
	34	○		レッスン後の振り返りの時間に必要に応じて随時実施しております。	
	35		○		現在予定はございませんが、前向きに検討致します。
	36	○		必要に応じて、随時行っております。	
	37		○		現在実施しておりませんが、前向きに検討致します。
	38	○		施錠したロッカーで個人情報を保管し、取扱いには十分に配慮しております。	
	39	○		レッスン中は子どもの発達に応じてコミュニケーションを取るように配慮しております。	
	40		○		現在予定はございませんが、前向きに検討致します。
非常時等の対応	41	○		各種マニュアルを作成しております。保護者からご希望があった際は、お見せしております。	
	42	○		年に2回、定期的を実施しております。	
	43	○		契約時に保護者の方よりお話を伺い、職員で情報共有を行っております。	
	44		○		アレルギーの有無は契約時に伺っておりますが、当施設では飲食物の提供は行っておりません。
	45	○		ファイルを準備して、情報共有を行っております。	
	46	○		定期的研修を実施しております。	
	47		△	虐待防止の観点からレッスンルームに防犯カメラを設置しております。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年 3月 25日

事業所名 7th Sense鳥丸御池

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			広さはそれぞれ違い、発達段階や支援内容、状況により使い分けています。
	2	職員の配置数は適切である	○			より効果的な支援を行うためにも配置について考えていきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		施設内はバリアフリーになっております。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		月に1回定期的に会議を開いております。	職員での情報共有、人権、緊急時等の研修を行い、深めていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		会議において情報共有を行い、保護者等の意向等を把握に努めています。	前回の評価結果を参考にいたしました。引き続き継続して参ります。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		事業所内での掲示、ホームページにより公表を行っております。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在のところ第三者評価の実施の予定はございません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部研修費の補助、内部研修の際、情報共有を行い、資質の向上に努めております。	内部研修の機会を増やし、さらに情報共有・資質の向上に努めて参ります。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		入所前にアセスメントシートを書いていただいたり、発達検査、子ども、保護者のご意見を基に作成しております。	面談等で得た情報を常に更新をしていき、支援に活用して参ります。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		現在使用しているアセスメントツールはありますが、標準化はされていません。しかしながら、データを積み上げて信頼性と妥当性を高めていき、支援に役立てていけるように努めてまいります。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		複数の担当の指導員より情報共有を行い、内容を検討しております。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		児童の様子を観察して、発達段階や興味・特性に合った支援を行っております。取組のバリエーションを増やすための研修も実施しています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	△			個別レッスンですので、大きな流れ、枠組みの中で行っていますので、原則平日、休暇等で内容の変更は行っておりません。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している		○		基本的に個別レッスンを行っているため、集団活動は他の施設等にお願いしております。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		開始前に気を付けるべき点や変更点等の情報共有を綿密に行っております。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		レッスン報告書提出時に児童発達支援管理責任者へ気になった点等を報告しております。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎回のレッスン後にレッスン報告書を作成し、会議でスタッフ全員で考え、よりよいレッスンをできるようにしております。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的またはご相談をいただいた際も行い、見直しを行っております。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			地域交流に関しては現在は行っていませんが、個別レッスンにおいて個人のリソースを活かす術やコミュニケーション力をあげるなどの後方支援的な活動は行っています。今後、この点についてもっとどのような工夫が出来るか、検討していく所存です。	
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が参画しております。		

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		必要に応じて、積極的に連携を密に行います。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		医療的ケアが必要なお子さまや重症心身障害のあるお子さまは現在受け入れをしております。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		必要に応じて、積極的に連携を密に行います。	支援内容等の情報共有・相互理解を図っていきたくと考えております。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		必要に応じて、積極的に連携を密に行います。	支援内容等の情報共有・相互理解を図っていきたくと考えております。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		今後、積極的に参加をしていきたくと考えております。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		現在予定はございませんが、前向きに検討致します。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			可能な限り積極的に参加をして参ります。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		毎回のレッスン終了後、説明を行い、支援内容をお伝えしております。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		家庭で行える支援の方法をお伝えしております。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明を行っておりますが、質問には随時お答えしております。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		レッスン後の振り返りの時間に必要に応じて随時実施しております。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		現在予定はございませんが、前向きに検討致します。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		必要に応じて、随時行っております。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○		現在実施しておりませんが、前向きに検討致します。
	35	個人情報に十分注意している	○		施錠したロッカーで個人情報を保管し、取扱いには十分に配慮しております。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		レッスン中は子どもの発達に応じてコミュニケーションを取るように配慮しております。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		現在予定はございませんが、前向きに検討致します。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		各種マニュアルを作成しております。保護者からご希望があった際は、お見せしております。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年に2回、定期的に実施しております。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		定期的に研修を実施しております。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		虐待防止の観点からレッスンルームに防犯カメラを設置しております。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		アレルギーの有無は契約時に伺っておりますが、当施設では飲食物の提供は行っておりません。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ファイルを準備して、情報共有を行っております。	